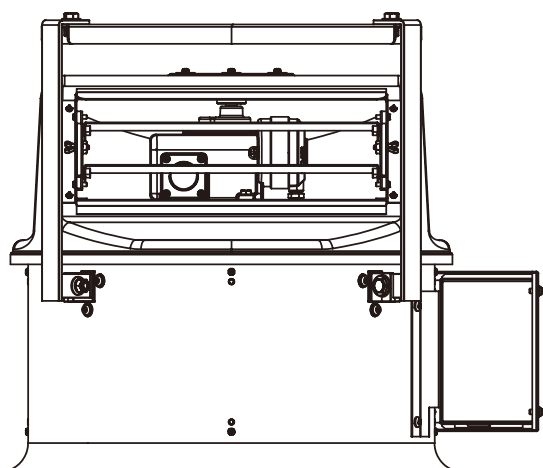


取扱説明書（設置説明書付）

ネポンダイレクトファン

型式 DFN-102TE



お客様へ

このたびは「ネポンダイレクトファン」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この商品を安全に正しくご使用していただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をお読みにになり、十分にご理解してください。
お読みになった後は、お手元において、ご利用ください。

工事をされる方へ

工事を始める前に必ず「取扱説明書」をお読みにになり「設置編」に従って工事を行ってください。
工事完了後、必ずこの「取扱説明書」をお客様にお渡ししてください。

製品保証

「保証書」はこの「取扱説明書」と同封してあります。
「取扱説明書」と同様、大切に保管しておいてください。

もくじ

安全上の注意

安全上の注意	1
取扱上の注意	2
設置上の注意	5

取扱編

使用前	各部のなまえとはたらき	6
	使用前の準備	7
使用方法	使用方法	8
	安全装置	10
点検・その他	点検・お手入れ・保管	11
	故障・異常の見分け方 と処置方法	12
	仕様	13



設置編

設置	設置	15
	電気配線	17
	連動運転	18
	設置工事後の確認	21
	試運転	22

定期点検・お客様登録
保証とアフターサービス




安全上の注意

- ・ ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・ ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですから必ず守ってください。
- ・ 表示と意味は、次のようになっています。

表 示	表 示 の 意 味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、施設や栽培物および動植物にかかわる拡大損害を意味します。

図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 送風注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「送風注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 アース工事	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「アース工事」を示します。

取扱上の注意

 警告

使用前の準備

設置・電気工事は必ずお買い上げの販売店
または工事店に依頼すること

施工不備により、感電、漏電、動作不良、または火災の
恐れがあります。



専門業者

本体を移動するときは電気配線を外すこと

電気設備の破損や漏電の恐れがあります。



本体移動の注意

使用方法

吹出口気流の影響を受ける場所に燃焼器具な
どを置かないこと

火災や不完全燃焼の原因となります。

燃焼器具、
電球類危険

人体に長時間連続して風を当てないこと

健康を害する危険があります。



風に注意

点検・お手入れ・保管

本体周辺に吸い込みやすいものを近づけない
こと

送風機モータに負担がかかり発火する恐れがあります。



吸い込み危険

点検、掃除のときは元電源を切ること

感電やけがをする恐れがあります。



元電源を切る

移設

移設する場合は最寄りの販売店または
工事業者へ依頼すること

移設する場合は、必ず最寄りの販売店または工事業者へ依
頼してください。据付け不備があると漏電、転倒等の
原因になり危険です。



専門業者

注意

使用方法

吹出口を上、空気吸込口を下の位置（右図の状態）で、水平にして使用すること
動作不良や故障の原因になります。



運転中はさわらないこと
けがをする恐れがあります。



使用中、衝撃を加えないこと
故障の原因になります。



点検・お手入れ・保管

取付工事の定期点検をすること
ファン本体が落下し、けがをする恐れがあります。



ファン本体に水をかけないこと
サビ発生や故障の原因になります。



故障・異常時の見分け方と処置方法

異常時（異音・異常振動など）発生時は使用しないこと
故障の原因や、部品の落下によりけがをする恐れがあります。



分解・修理・改造はしないこと
感電、動作不良、または火災の恐れがあります。



注意

廃棄・譲渡

廃棄は専門業者へ依頼すること

廃棄する場合は必ず専門業者へ依頼してください。

絶対に投棄等はしないでください。



専門業者

譲渡のときは取扱説明書を添付すること

お使いになっているネポンダイレクトファンを他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を機器の目立つ所にテープ止めしてください。



取扱説明書添付

設置上の注意

 警告

設置

天井設置の取付工事は確実に行うこと
ファン本体が落下し、けがをする恐れがあります。



取付工事

 注意

開梱

持ち上げる時、吹出口を直接持たないこと
故障の原因になります。



吹出口持ち上げ禁止

設置

雨水などの直接かからない場所に設置すること
サビの発生や故障の原因になります。



雨水など避ける場所

十字フランジを取外した状態でファン本体を
持ち上げないこと
部品破損の恐れがあります。



取外し禁止

設置のさい、ファン本体に無理な力や衝撃を
加えないこと
部品破損の恐れがあります。



衝撃注意

電気配線

電源は電気設備技術基準に従い、200V専用
回路を設けること
漏電または動作不良の恐れがあります。



200V専用回路

アース工事は、必ず行うこと（D種接地工事）
感電の恐れがあります。



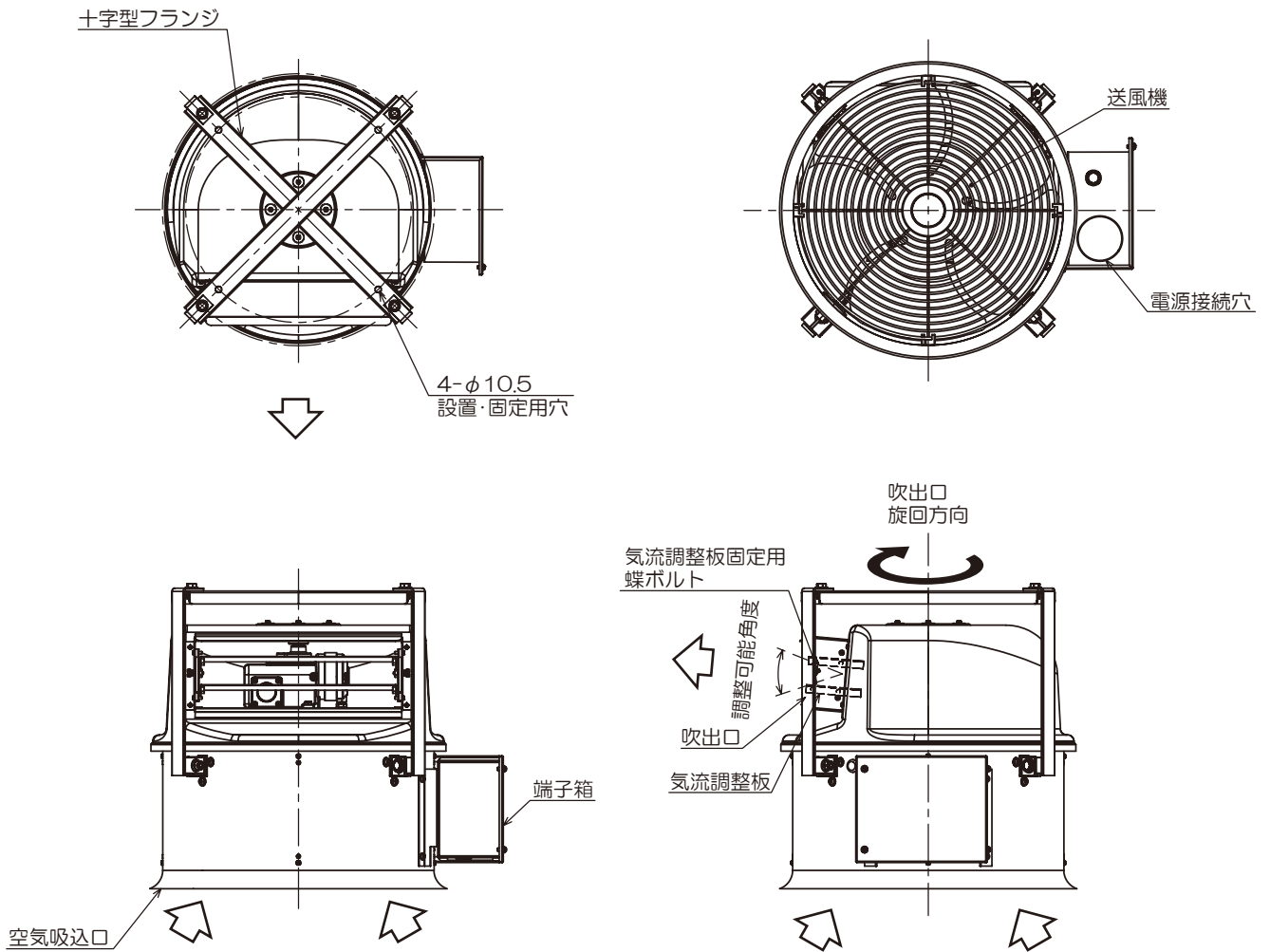
アース工事

配線類は揺れないように固定すること
断線により、感電、漏電、または火災の恐れがあります。

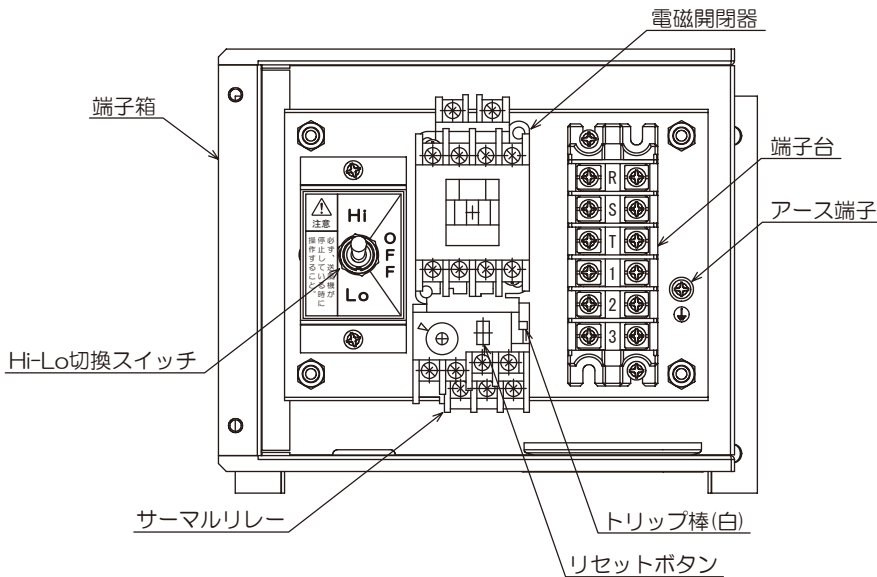


配線類は固定

各部のなまえとはたらき

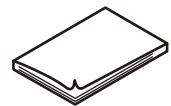


<端子箱内部>



<付属品>

取扱説明書 1冊



＜使用前の準備と確認＞

●電気

電源はAC200V（三相）の専用回路であるか確認してください。

アース工事がされているか確認してください。

●吹出口

吹出口を上、空気吸込口を下の位置で、水平にして使用しているか確認してください。

吹出口や空気吸込口を絞ったり、塞いだりして使用しないでください。

天井設置の取付工事が確実にこなされており、落下の危険が無いか、ネジ等がしっかり締付けたか確認してください。

配線類が吹出口からの風で揺れて断線することの無いようにファン本体周辺の配線が余裕をもって正しく配線されているか確認してください。

吹出口周辺に風によって影響を受ける燃焼器具類や電球などは、安全な距離まで遠ざけてください。

吹出口に当たるような周囲の枝などはあらかじめ取り除いてあるか、また、吹出口の上に物など置いていないか確認してください。

●送風機吸込口

送風機吸込口周辺に吸込まれやすいものがないか確認してください。周辺の草、枯れ葉などは取り除いてください。

またビニールカーテンなどは固定してください。

●Hi-Lo運転切換えの選択

風が強すぎる場合には、Lo運転に切換えられます。作物の生育やハウス寸法に合せ選択してください。（P. 9 『Hi-Lo運転切換えの方法』 参照）

1. 運転方法

- ◎ネポンダイレクトファンは、吹出口が旋回しながら風（気流）を発生する、温室の空気流動装置です。
- ◎本機を有効にご利用いただき、温室内の温度ムラの改善や作物の多湿病害の抑制、光合成促進、葉や果実の焼けを改善、また作業環境の改善などにお役立てください。
- ◎本機は、温室の天井部分に固定して使用します。温室のしっかりした構造部分に水平に固定して使用します。吹き出す風の角度は調整可能です。
- ◎本機は、電源を入れると運転を開始して、吹出口が旋回しながら風（気流）を温室内に送ります。
- ◎本機は、Hi-Lo運転が可能です。ハウス寸法や作物の生育に合せLo運転に切換えてご使用ください。送風範囲が変わりますので、ご確認のうえHi-Lo運転の設定は行ってください。（出荷時はHi運転の設定になっています。）
- ◎外部制御機器により運転制御をする場合は、あらかじめ連動運転用外部入力端子に外部制御機器の信号を接続する必要があります（設置工事のときにご依頼されることが必要です）。それにより、別売品の24時間タイムスイッチやモヤトリコントローラ、湿度コントローラなどの環境制御機器の制御信号による自動運転が行なえます。
また、ハウスカオンキとの連動運転、他のダイレクトファンとの連動運転も同様に行なえます。

[運転・操作表]

P.6『各部のなまえとはたらき』、P.17『電気配線』およびP.18『連動運転』を参照してください。

(1) 元電源の入・切による運転の場合（1台運転の場合）

	動 作
運 転	ネポンダイレクトファンの元電源を入れる。 送風を開始して、吹出口が旋回します。
停 止	ネポンダイレクトファンの元電源を切る。 送風を停止して、吹出口の旋回が止まります。

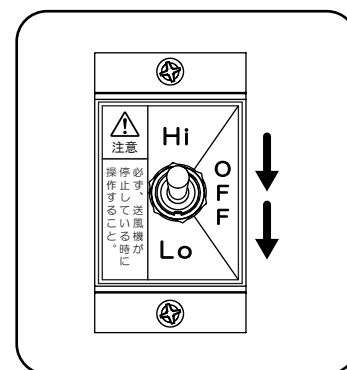
(2) 外部制御機器による運転の場合（運転例）

		動 作
電 源		ネボンダイレクトファンの元電源を入れる。
運 転	外部制御機器側 運転スイッチ	外部制御機器側の運転スイッチを入れる。 外部制御機器側の信号が「ON」の時に送風を開始して 吹出口が旋回します。
停 止	外部制御機器側 運転スイッチ	外部制御機器側の信号が「OFF」の時に送風を停止して 吹出口が止まります。 外部制御機器側の運転スイッチを切る。

(注) 外部制御機器の仕様により動作が異なります。
「運転例」は、基本的な外部制御機器（例えば「24時間タイマ」(別売品)など）による動作を示します。

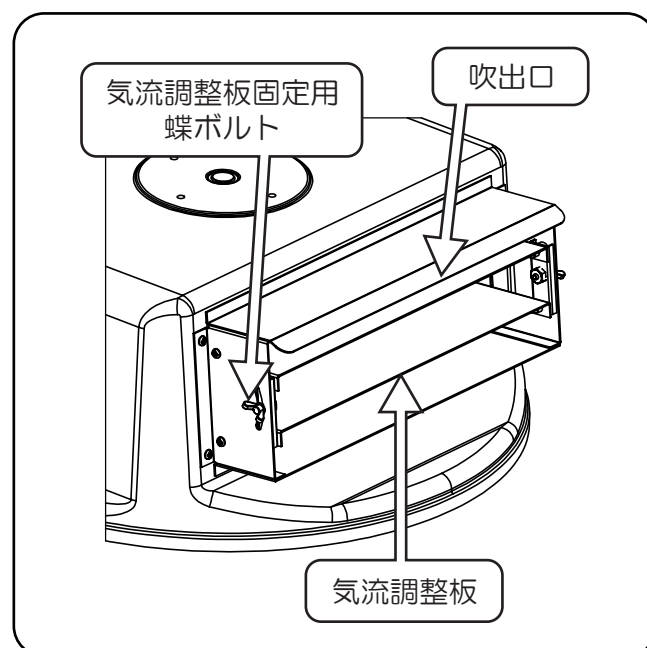
2. Hi-Lo運転切換えの方法

出荷時は「Hi運転」の設定になっています。
送風機のHi-Lo運転切換えは電源を切ってから行なって下さい。
運転中に「Lo運転」に切換える場合はHi-Lo切換えスイッチを、必ず「OFF位置」にして送風機が停止したのを確認のうえ、右図のように「Lo運転」側に倒して下さい。



3. 気流調整方法

気流調整板は吹出口の左右にある蝶ボルトで固定されています。
右図のように、気流調整板を固定している蝶ボルト（左右2ヶ所）を緩めてから、上下に調整してください。



＜過電流保護装置（サーマルリレー）＞

送風機モータの電流値が異常に大きくなったとき、電磁開閉器のサーマルリレーが動作して送風機を強制的に停止させ、過電流によるモータの焼損を防止します。

過電流保護装置が動作したときの再運転の方法

運転中に送風機が停止します。

この場合、運転スイッチを切ってから下記の点検事項を確認してください。

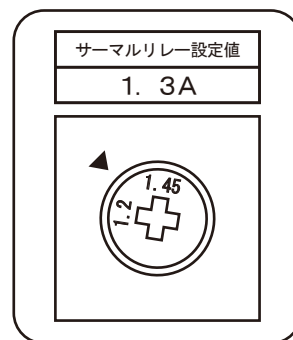
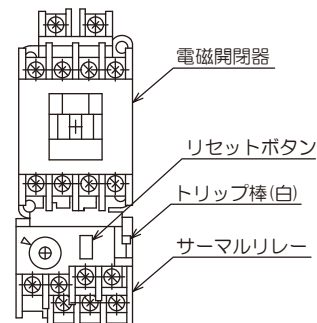
- ・サーマルリレーのトリップ棒(白)が奥に入っていないか。
- ・送風機回路の配線(3線)のうち、1線が外れていないか。

必ず原因を判明し、改善してから再運転を行なってください。

サーマルリレーのリセットボタンを軽く押した後、運転スイッチを『運転』側に入れると、再運転をします。

また再運転後、サーマルリレーがすぐに動作し送風機が停止してしまう場合は、サーマルリレーの設定値が既定値よりも低くなっていることが考えられます。

設定値が右表の値より低い場合は、右図のように▼印に設定値を合わせてください。



＜吹出口拘束時保護装置＞

停止時および運転中に、吹出口の旋回を止めるような逆方向の力が加かると、その力を逃がす機構（トルクリミッタ機構）が働いて、旋回モータ部を保護します。

吹出口拘束時保護装置が動作したときの確認事項

運転中は吹出口が止まったまま送風する状況が起こります。

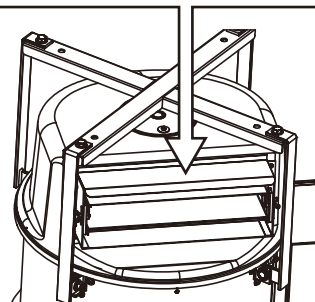
その場合は元電源スイッチを切って、下記の事項を確認してください。

- ・周辺に吹出口の回転を止めるようなものがあれば取り除いてください。
- ・内部にごみなどを吸い込んでいたら取り除いてください。

必ず原因を究明し、改善してから再度運転してください。

吹出口は手で軽く回して、カチッと音がする状態とめて、再度元電源スイッチを入れて吹出口が回れば正常です。

指で強く押さえると止まり、離すと再び回る



1. 日常の点検項目

送風機・吹出口回りの確認

周辺に吸い込みやすいものはないか、吹出口が正常に回転しているか、確認してください。

設置回りの点検

万一の落下事故防止のため、ネポンダイレクトファンを取付けている金具やボルト類に緩みが発生していないか、定期的に点検してください。

取付金具類のサビのひどいものは、早めに交換してください。

電源・自動制御機器の確認

ときどき（6ヶ月に1回以上）正常動作しているか確認してください。

2. 定期的な点検項目

回転モータ部の点検

お買い上げの販売店または最寄りの営業所に依頼してください。

吹出口が回転しないときは、P. 10『吹出口拘束時保護装置が動作したときの確認事項』を参照して点検してください。

3. 部品交換のしかた

短期間に消耗する部品は特にありませんが、部品交換が必要なときはお買い上げの販売店にご相談ください。修理は販売店または最寄りの営業所に依頼してください。

4. 定期点検

定期点検に関する注意事項

◎長期間ご使用になりますと、ネポンダイレクトファンの点検が必要です。1年に1回の「定期点検」をおすすめします。

◎定期点検は、お買い上げの販売店または最寄りの営業所に依頼してください。
（点検費用など詳しいことは販売店などにご相談してください。）

5. 保管

保管に関する注意事項

◎運転終了後（シーズンオフ）には各部を点検・手入れした上で、雨水・ホコリがかからない風通しの良い場所に保管してください。

◎シーズンオフは雨ざらしなどにせず、シートやカバーをかけてください。

◎自動制御機器にくるいの生じるような湿気の多い場所は避けてください。

◎元電源は必ず切ってください。

＜見分け方と処置方法＞

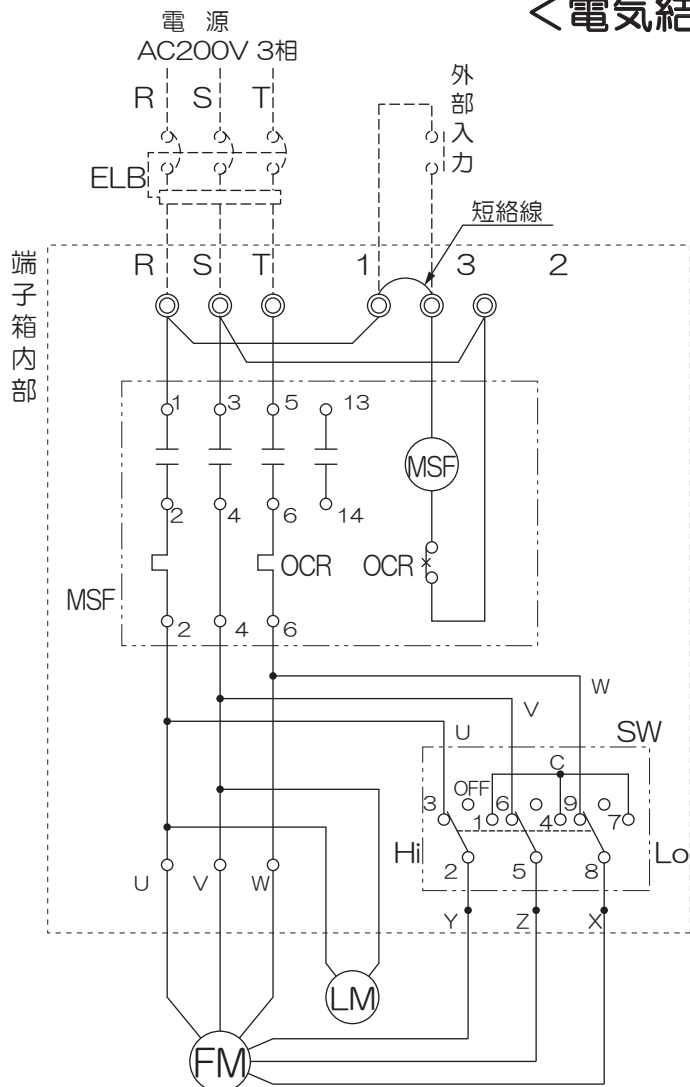
現象	状況	対処
ネボンダイレクトファンが動作しない	電源配線が接続されていない	電源を接続してください
	外部入力（24時間タイムスイッチやサーモスタットなど）の電源が入っていない	外部入力（24時間タイムスイッチやサーモスタットなど）の電源を入れてください
	連動させているハウスカオンキや他のダイレクトファン等が停止している	外部入力機器（連動させているハウスカオンキや他のダイレクトファン等）を運転してください
吹出口が旋回しない	吹出口過電流保護装置が働いている（トルクリミッタ機構）	吹出口の旋回を止めるようなものがあれば取り除いてください（P.10）
風が少ない	Lo運転している	Hi運転に切り換える
風が強すぎる	Hi運転している	Lo運転に切り換える

<仕様表>

型式	DFN-102TE		
運転方法		Hi運転	Lo運転
風量	m ³ /min	22/25	20/21
吹出口	360° 旋回式		
電源	AC200V 三相 50Hz/60Hz		
消費電力	W	200/280	170/250
運転電流	A	0.90/1.00	0.60/0.85
送風機	名称	プロペラファン	
	電動機	W	140/230 105/115
旋回モータ	W	14/12	
安全装置	過電流保護装置 吹出口拘束時保護装置		
外部配線	端子台接続		
外部接続機能	外部入力・出力運転可能		
製品質量	kg	22	

(注) 上記表中で「/」で示す数値は、それぞれ電源周波数50/60Hzの値を示します。

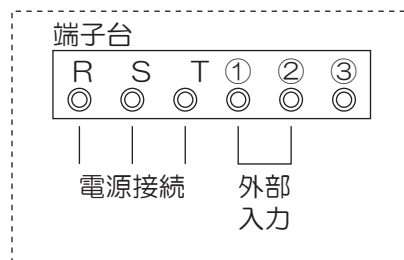
<電気結線図>



記号	名称
ELB	漏電遮断器
MSF	電磁開閉器
OCR	過電流保護装置(サーマルリレー)
FM	送風機電動機
LM	旋回モータ
SW	Hi-Lo切換スイッチ

注記

- 1) 電源配電盤には、漏電遮断器を必ず取付けてください。
- 2) 本図の破線部分は、現地施工してください。
外部入力の場合は、端子台の①-②間の短絡線を外してから無電圧接点を接続してください。
ただし、外部入力運転用の24時間タイムスイッチやサーモスタットは別売品です。
- 3) ネボンダイレクトファンの複数台を連動運転する場合は、電気結線図#344159 (P.20) を参照してください。
- 4) アースは必ずつないでください。
- 5) 雷発生時には、電源配電盤のコードを外してください。



1. 設置場所の選定

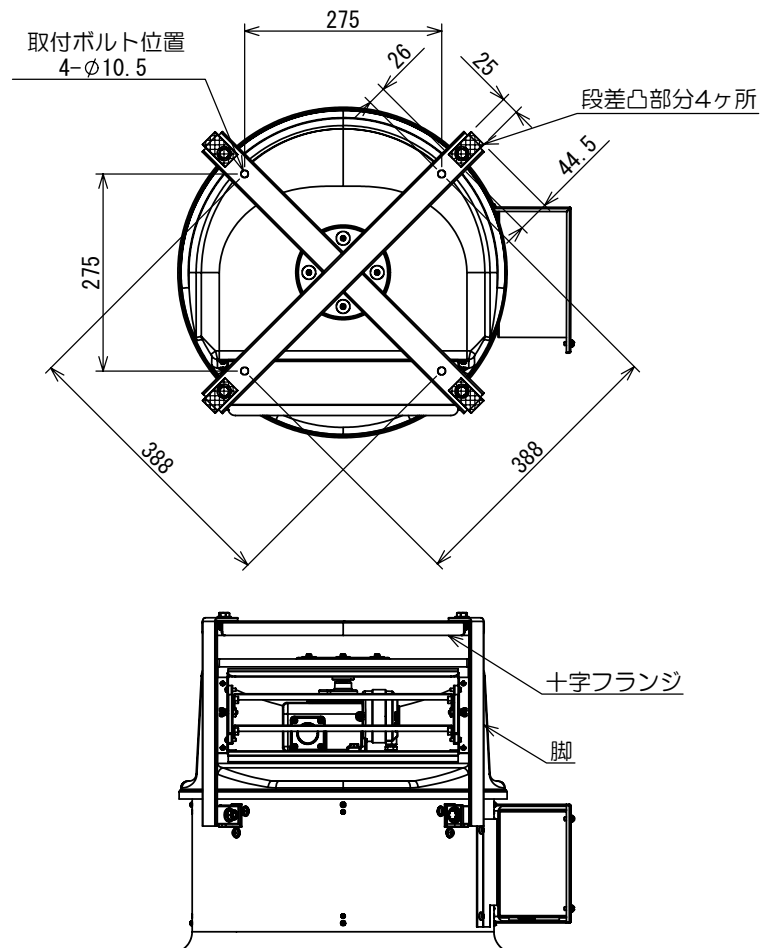
下記の項目を守って設置してください。

- ・ 水平に設置できる場所。
- ・ 天井設置する場合は、しっかりしたハウス構造部材を確保できる場所。
(製品質量 (22kg) を取付けるのに耐える構造物であること。)
- ・ ネポンダイレクトファンに雨水やスプリンクラーなどの水が直接かからない場所。
自走式の消毒・散水装置のパイプなどが通らない場所。
- ・ ネポンダイレクトファンは吹出口部分が回転しながら周囲に風を吹出すため、風 (気流) の通りみちに障害物等のない場所。吹出口の前に太い柱やカーテンなどある位置は避けてください。
- ・ ネポンダイレクトファンの周囲に点検のためのスペース (60cm) がとれる場所。

2. 取付面穴位置寸法

下図の4-φ10.5の穴を利用して取付けてください。

十字フランジ上面には、脚の取付部分の段差がありますので段差を避けるか、取付面と十字フランジの間にスペーサを挟み込んでください。



3. 天井設置例

設置のために本体を分解しないでください。

設置のさい、本体に衝撃を加えないでください。

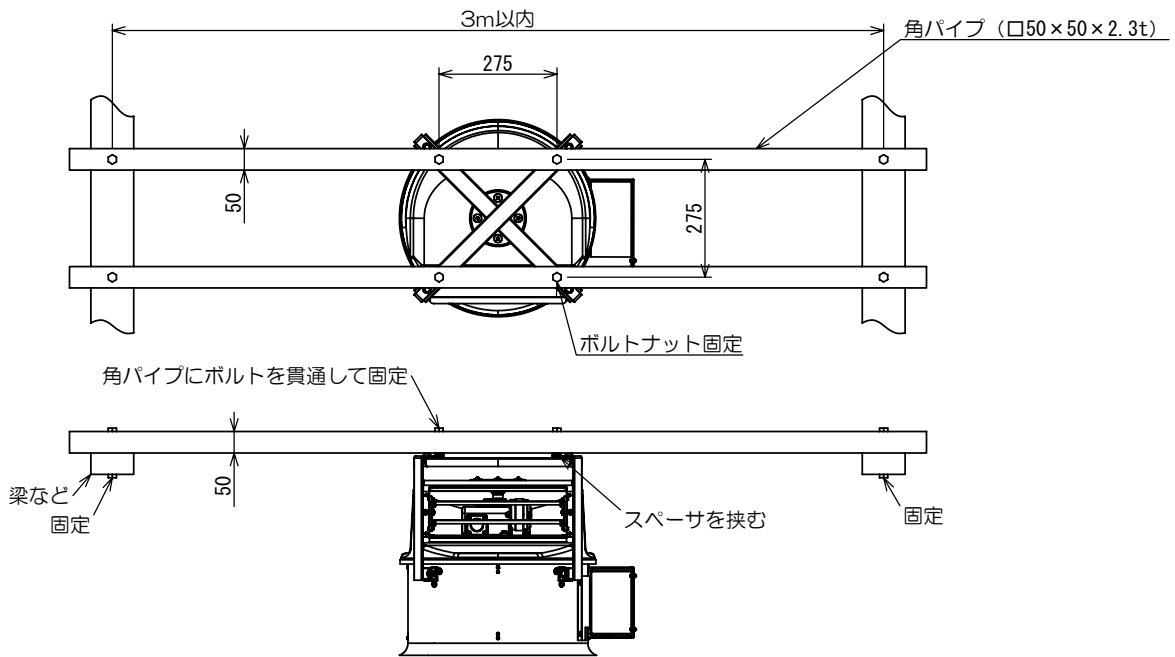
※高所に設置するときほど、十分に安全を考慮して固定してください。

※両端の固定の間隔は3m以内程度としてください。

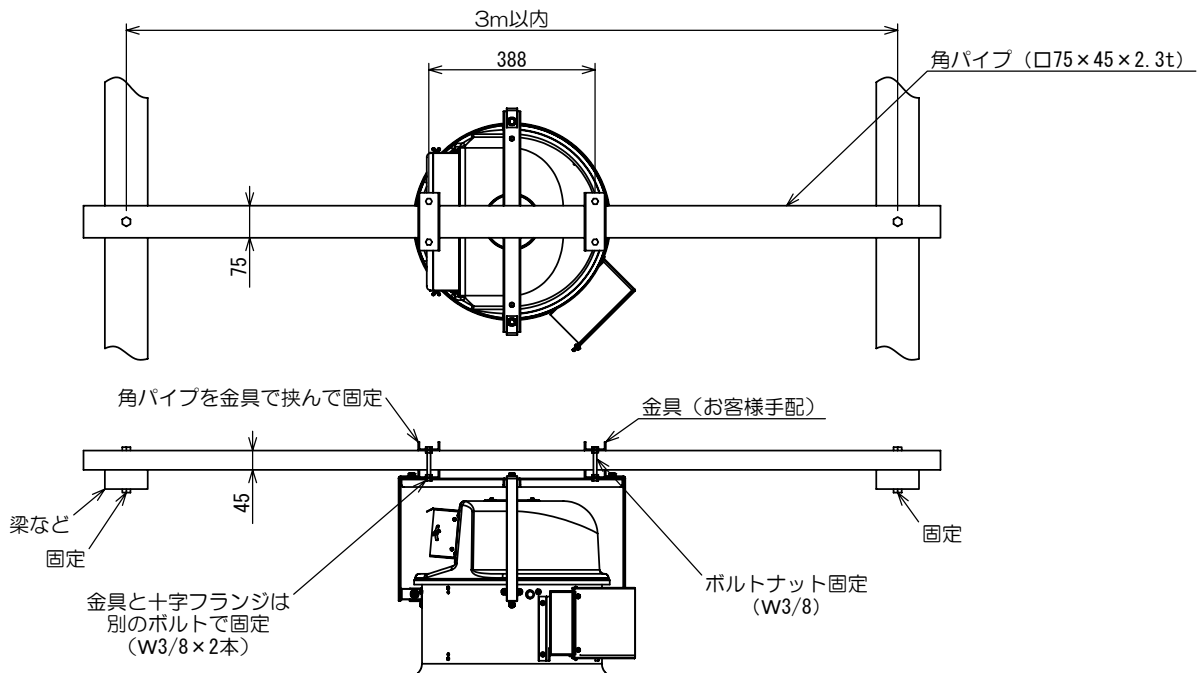
長くなる場合は支柱や支線の検討をしてください。

※パイプ・金具・ボルト類はメッキ品を使用してください。

[設置例①] 2本の角パイプを使用して取付ける場合。



[設置例②] 1本の角パイプに取付ける場合。金具を用意して固定。



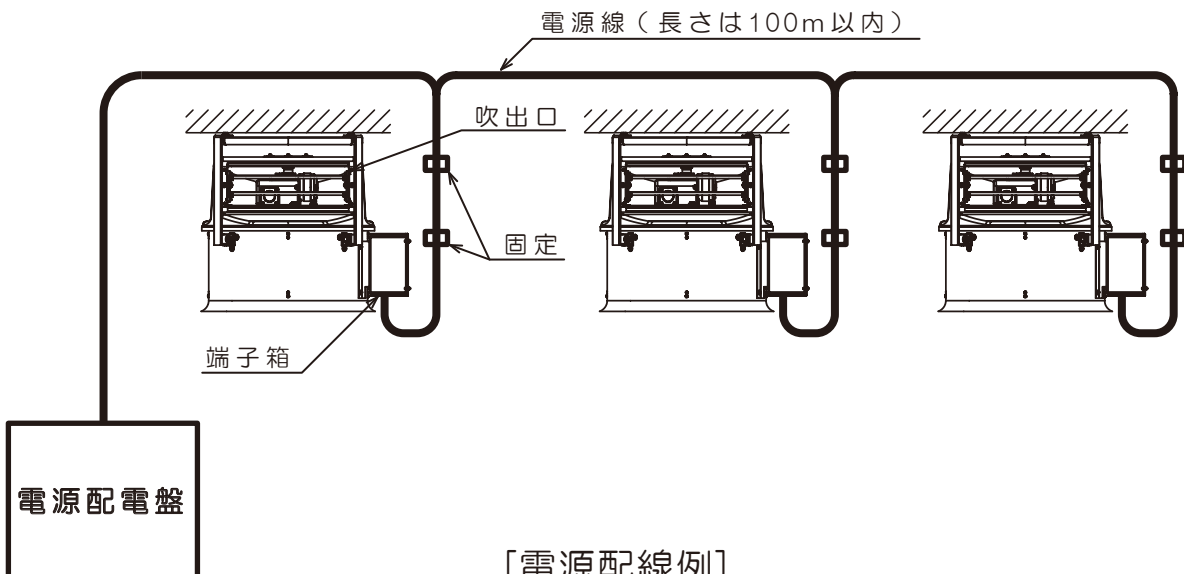
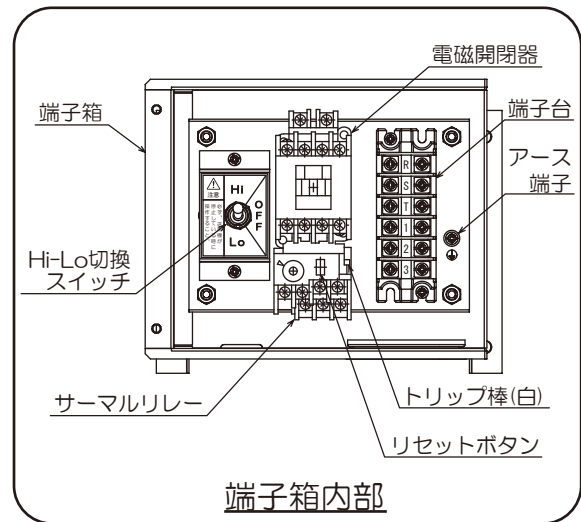
<電気配線工事の注意事項>

- ◎漏電しゃ断器のついたネポンダイレクトファン専用の配電盤を設けてください。
- ◎電源は電気設備の技術基準に従い、電気工事士の資格をもった方が工事を行なってください。
- ◎電源は AC200V 三相です。
電源容量に合わせて施工してください。
- ◎電源線の太さは、下表に規定されている電線を使用してください。

電源線	長さ	100m以下
	太さ	2.0mm ² 以上
	台数	3台以内

- ◎感電事故を防止するため、アース（D種接地工事、接地抵抗 100 Ω以下）を行なってください。
- ◎電源線類は吹出口の風で揺れないように固定してください。
- ◎ネポンダイレクトファンに接続する、電源線の太さは 2.0mm²を使用してください。
太い線で配線する場合は、中継ボックス（端子台）を設け、端子台に接続する線の太さを合わせてください。
距離が長くなり太い線で配線する場合は、中継ボックス（端子台）を設けて、ネポンダイレクトファンに接続する線は出来るだけ合わせてください。

<ご注意> 1つの端子に3本以上電線を接続しないでください。
不完全接触があると、発熱・火災の原因になります。



<連動運転の注意事項>

◎ネポンダイレクトファンを複数連動運転する場合は、端子台の①②番間の短絡線を外し、端子台の2番同士を接続してご使用ください。

(P. 20『複数連動運転 電気結線図』参照)

<ご注意> 複数連動運転の場合、ダイレクトファンの信号は『有電圧信号』となりますので、誤配線でショートなどないように、電源線の相を合わせて、十分注意して配線してください。

短絡線は必ず外してご使用ください。

◎2台以上の子機を連動運転する場合、親機出力（無電圧接点）に並列に2台以上の子機を接続しないでください。誤動作の原因になります。

◎連動用の制御配線は、VCTF 0.75²以上の太さの電線を使用してください。

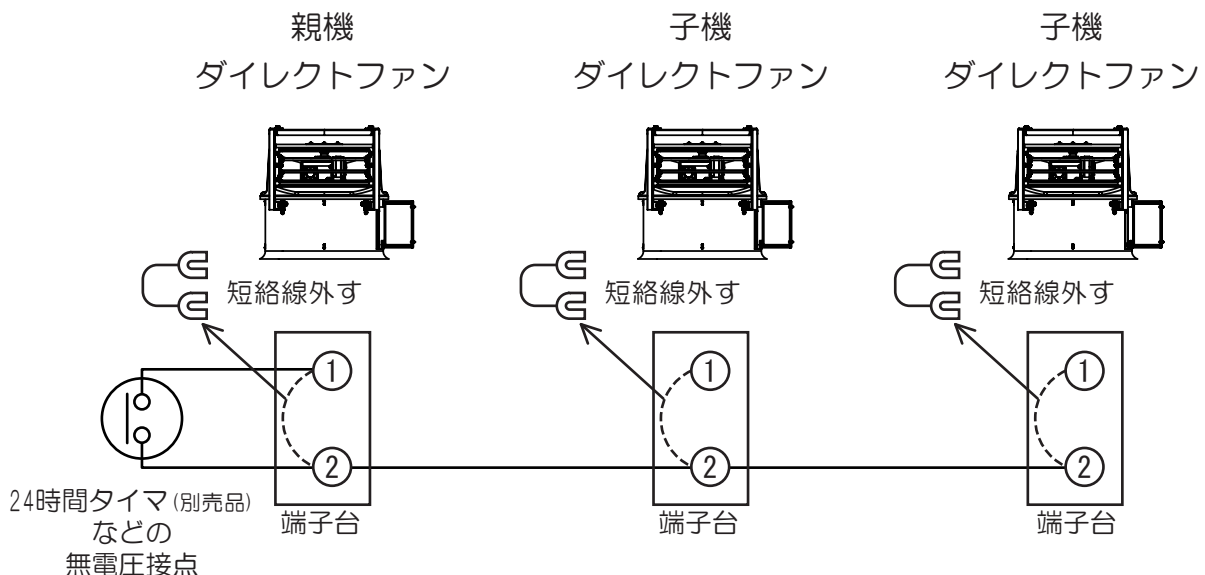
1. ネポンダイレクトファンの複数連動運転

◎親機に連動して子機を運転します。

◎複数運転の場合のネポンダイレクトファンの親機は、外部制御機器（24時間タイマ(別売品)など）などによる運転を行なってください。

<接続> 下図は親機が24時間タイマによる外部入力運転している場合の接続例を示します。この場合、親機と子機の端子箱内の端子台の①②番間の短絡線を外し、親機の端子箱内の端子台の②番と子機の端子台の②番を接続してください。

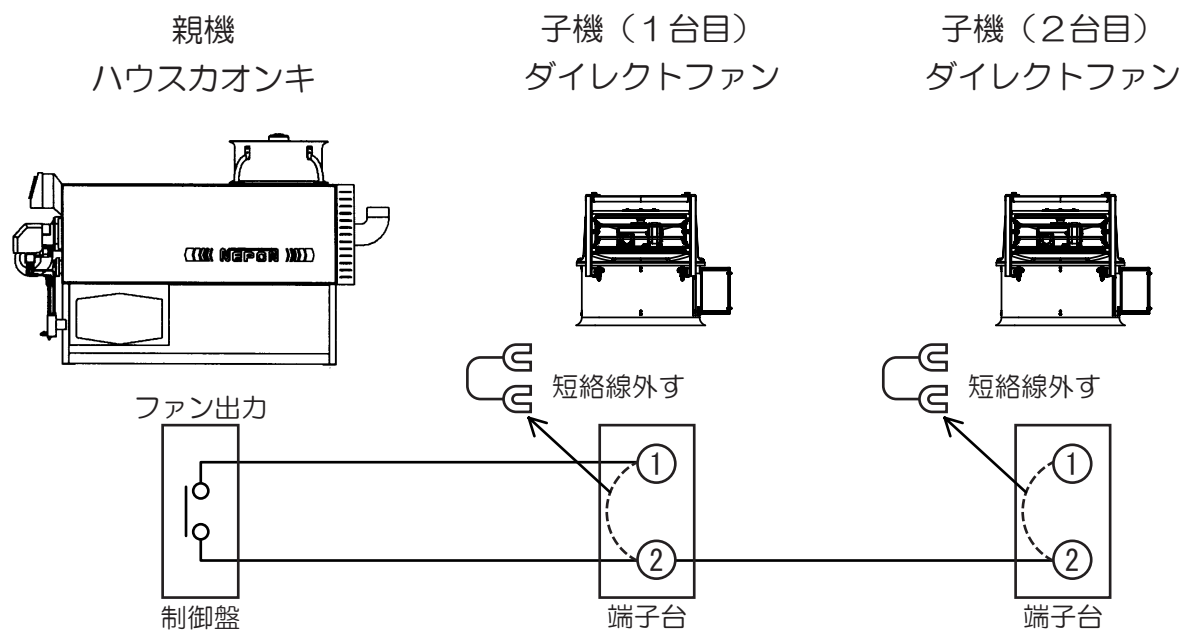
(P. 20『複数連動運転 電気結線図』参照)



2. ハウスカオンキとの連動運転

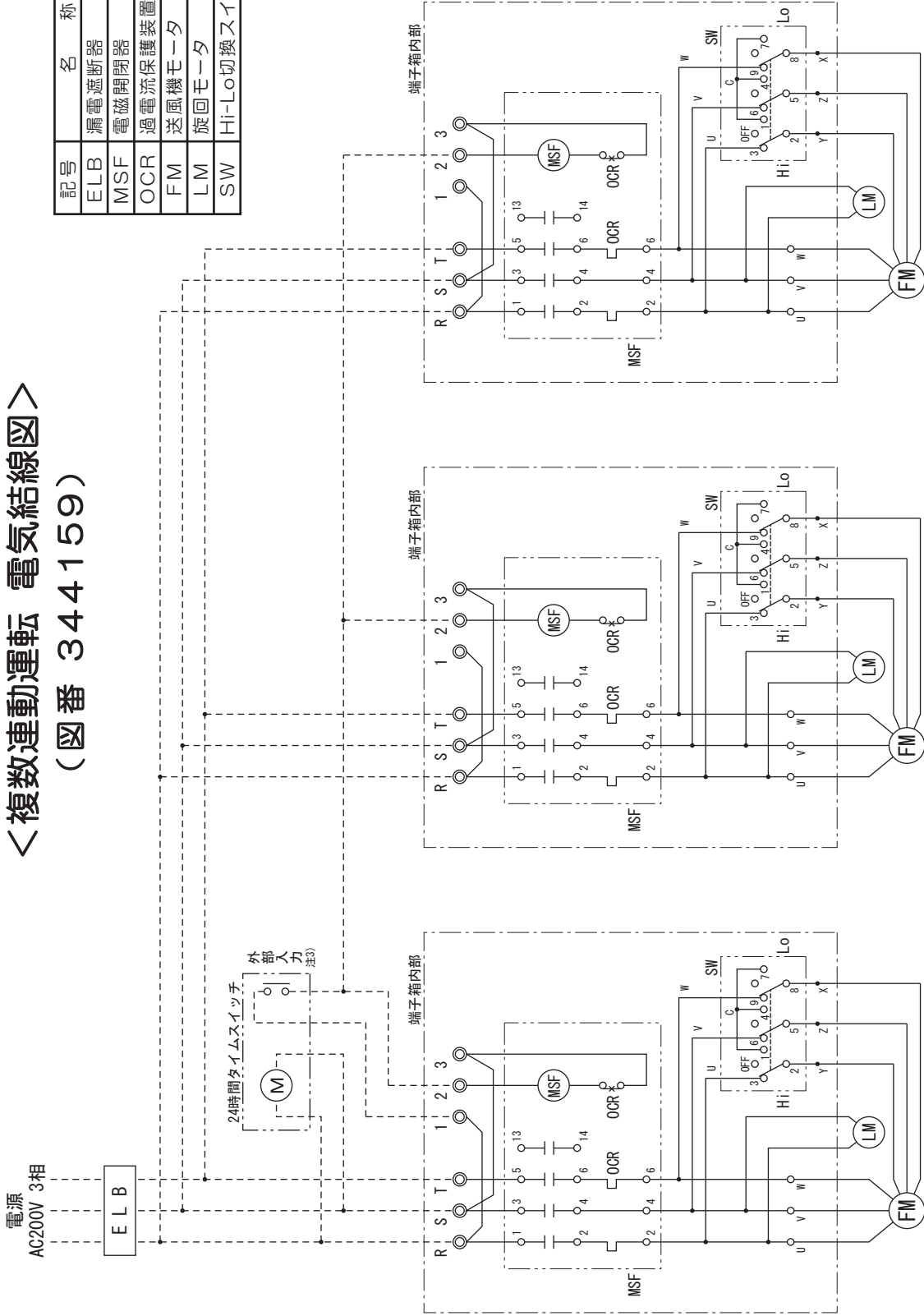
◎ハウスカオンキ [親機] のファンに連動してネポンダイレクトファン [子機] を運転します。

<接続> ハウスカオンキ [親機] の制御盤内ファン出力 (無電圧接点) を、ネポンダイレクトファン [子機 (1台目)] の短絡線を外した端子台①②番間に接続してください。ネポンダイレクトファン [子機] は短絡線を外して端子台の②番同士を接続してください。 (P. 20 『複数連動運転 電気結線図』 参照)



＜複数連動運転 電気結線図＞ (図番 344159)

記号	名称
ELB	漏電遮断器
MSF	電磁開閉器
OCR	過電流保護装置(サーマルリレー)
FM	送風機モータ
LM	巡回モータ
SW	Hi-Lo切換スイッチ



ネポンダイレクトファン③

ネポンダイレクトファン②

ネポンダイレクトファン①

注記

- 1) 本図は、ネポンダイレクトファンを連動運転する場合の電気結線を示します。
破線部分を施工してください。
- 2) 『ネポンダイレクトファン①～③』の端子台の①②間の短絡線はすべて外します。
- 3) 24時間タイムスイッチは別売品です。
- 4) 電源配電盤には、漏電遮断器を必ず取付けてください。
- 5) アースは必ずつないでください。
- 6) 雷発生時には、電源配電盤のコードを外してください。

No.	確認	項目	頁	内 容
1		設置場所	15	ダイレクトファンは雨水やスプリンクラーの水が直接かからない場所に設置されている。
2		〃	15	水平に設置されている。
3		〃	15	ダイレクトファンの周囲に点検のためのスペースがある。
4		〃	15	吹出口の近くに、旋回の支障となる物がない。
5		〃	15	吹出口から発生する気流の障害物が本体近くにない。
6		設置方法	15	天井設置工事が確実にこなわれている。
7		〃	15	ダイレクトファンを固定する梁や金具及びボルト類にガタや緩みがない。
8		電気配線	17	電源はAC200V三相で電源容量は十分である。
9		〃	17	電気配線の太さ、長さ、ブレーカ容量は基準に適合している。
10		〃	17	電線の太さは、2.0mm ² で接続されている。
11		〃	17	端子ネジなどに緩みがない。
12		〃	17	アース工事は確実にこなわれている。
13		〃	17	電線類は吹出口からの風で揺れないように、余裕を持って固定してある。
14		〃	17	外部入力運転時、端子台に外部入力の接続が正しくされている。
15		〃	17	複数連動運転をしている場合、親機と子機の入出力の配線が正しく接続されている。
16		〃	17	外部制御機器を使用している場合は、それに付属の取扱説明書に従って、工事確認を実施している。

1. 運転準備

ネボンダイレクトファンの試運転に入る前に、次のことを準備し確認してください。

①吹出口周辺の確認

吹出口が回転しますので、周囲に障害となるものがないことを確認してください。
吹出口を絞ったり、ふさいだりしていないか確認してください。

②送風機周辺の確認

送風機周辺に吸込みやすいものがないか確認してください。

③電源および送風機の回転方向の確認

元電源を入れてください。

外部入力による運転をしている場合は、外部入力側（24時間タイムスイッチ(別売品)等）の運転スイッチも入れてください。

送風機が矢印の方向に回転し、吹出口から風が出ることを確認してください。

もし回転方向が逆の場合は、元電源を切ってから電源配線（R、S、T）のR相とT相を入れかえてください。

相入れかえ後、再度回転方向の確認をしてください。

複数台の使用の場合は、すべてのダイレクトファンについて回転を確認してください。

もし一部の台数のみが逆回転している場合は、逆回転しているダイレクトファンの電源配線の入れかえを、上記と同様にしてください。

④Hi-Lo運転の確認

あらかじめHi運転か、Lo運転に設定しておいて下さい。

出荷設定は「Hi運転」です。（P. 9 『Hi-Lo運転切換えの方法』 参照）

2. 運転

No.	操 作	状 態
1	元電源を入れる	「元電源の入・切による運転の場合」には、送風を開始して吹出口が回転を始めます。
		「外部制御機器による自動運転の場合」は、その運転スイッチが入っていないと運転しません。
2	外部制御機器側の運転スイッチを入れる（注）	外部入力が「ON」であれば送風を開始し、吹出口が回転します。
		外部入力が「OFF」であれば送風が停止して、吹出口の回転が停止します。

（注） 外部制御機器によって自動運転する場合は、その取扱説明書にしたがって操作してください。



定期点検・お客様登録

定期点検について



注意

- 定期的に点検・整備を受けてください
整備不良がありますと、事故のおそれがあります。

この製品は、定期点検が必要です。

この製品の性能を維持し、お客様が安全にお使いいただくために、定期点検（有料）をお受けください。

定期点検のお申し込み、内容や手続きに関するお問い合わせは、お近くのネポン営業所、またはサービスセンターまでご連絡ください。
また、製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接お申し込みいただけます。
必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

定期点検のお申し込み・お問い合わせは…

お近くのネポン営業所 または サービスセンター

FAXによる定期点検のお申し込みは…

FAX  0120 - 926413

お客様登録について

ネポン製品をご購入いただいたお客様には、「お客様登録」をお願いしております。

「お客様登録」をしていただきますと、定期点検のご案内や、お使いの製品についての重要なお知らせなどをお届けします。

製品に同封の「お客様登録用紙」に必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてご登録いただくか、ネポンホームページの登録フォームよりご登録いただきますようお願いいたします。

FAXによるお客様登録は…

FAX  0120 - 926413

インターネットによるお客様登録は…

<http://www.nepon.co.jp/>



保証とアフターサービス

保証について

- この製品は、保証書を別途添付しています。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。
保証期間中でも有料となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年です。
補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

12ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べいただき、なお異常があるときは、元電源を切って（電源プラグがある場合は、電源プラグを抜いて）、お買い上げの販売店、またはお近くのネポン営業所にご連絡ください。

製品に同封の「点検・修理申込書」でも直接修理をお申し込みいただけます。
必要事項をご記入のうえ、FAX（フリーダイヤル）にてお申し込みください。

■保証期間中は・・・

修理に関しては保証書をご覧ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは・・・

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・交通費から構成されています。

技術料・・・故障した商品を正常に修復するための料金です。

部品代・・・修理に使用した部品代金です。

交通費・・・車両・移動に必要な料金です。

■ご連絡いただきたい内容

- 品名 ●型式
- お買い上げ日（年 月 日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- お名前 ●電話番号
- ご住所（付近の目印などもあわせてお知らせください）
- 訪問希望日

修理のご用命は・・・

お買い上げの
販売店

または

お近くの
ネポン営業所

ご相談

サービスセンター

☎(046) 247-3195

月曜日～金曜日 9:00～17:00

FAX ☎ 0120-926413

お買い上げ年月日／ 年 月 日

お買い上げ販売店／

電話番号 () -

お客様へ

お買い上げ年月日、
販売店名を記入してください。
サービスを依頼される時、
お役に立ちます。

ネポン株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

URL : <http://www.nepon.co.jp/>